

コンサートレポート

2020年1月16日(日)、待望の10周年記念演奏会「New Year Concert」を開催しました。当団の創立は2010年10月なので本来は一昨年の秋に計画していたのですが、新型コロナウイルスの急拡大のため延び延びになっていたのをようやく実現することができました。四街道市文化センターにおいて万全の対策(受付でのマスク着用確認、検温、手指消毒、連絡先記入、座席空けなど)を実施して、お客様をお迎えしました。

午前中は舞台設営とゲネプロです。事前の打ち合わせに従ってステージに台を設置し、譜面台と椅子、ピアノを所定の位置にセットして各自の位置を確認し終わって、司会進行のMCも含めてゲネプロを実施。

昼食・休憩後、衣装に着替えて、13時開場・14時開演。

オープニング(青い山脈)に続いて前半の演奏・四季の歌メドレー、世界音楽めぐり・日本編、ラ・クンパルシータ、夜のタンゴ、碧空、マイアミビーチルンバ(歌)

MCによる曲紹介を交えて、一曲ずつ拍手をいただきますながら、最後の歌では当団の歌姫がボーカルデビューです。休憩後、女性は衣装替え、男性はポケットチーフ(女性の衣装と同じ赤紫色)をつけて登場。



代表挨拶の後、後半の演奏・ブルーライトヨコハマ、瀬戸の花嫁、シバの女王、シネマラブソングメドレー、テネシーワルツ(歌)、ビートルズメドレー、ドナウ川のさざ波途中、N指揮者の軽妙なお話シニアになっても楽器を演奏できる喜び、このご時勢での音楽の力など、ユーモアを交えて)をはさんで、最後のドナウ川までお客さんの拍手に励まされながら終了できました。とくにメドレー2曲は昨年後半から取り組んだ新曲なので何とか出来てよかったです。なおビートルズはヒット曲10曲を盛り込んだ指揮者の編曲で今日が初演でした。

終了後、指揮者に花束を贈呈し、なかなか拍手が止まらないのでアンコールに用意したラッキー行進曲を演奏、さらに拍手が続いて最後に八木節を演奏して終演しました。

このホールでは過去に400名ほどのお客さんに来場いただいたり開催したこともあります。本日は新型コロナウイルスの第6波の拡大が心配されるなかにもかかわらず、200名近くのお客様にご来場いただき、とてもありがたく感謝しております。

2年越しの懸案だった10周年記念演奏会を無事に終了することができてホッとしています。団員一同、また新たなステージに向かって頑張ってまいります。文責：池田正志

